

令和3年度保健事業実施状況及び 令和4年度保健事業計画について

島本町健康福祉部いきいき健康課

- 1 母子保健事業……………P1～3
- 2 健康増進事業……………P4～6
- 3 歯科保健事業……………P7
- 4 予防接種事業……………P8～11
- 5 高槻島本夜間休日応急診療所……………P12
- 6 データヘルス計画事業計画進捗状況(島本町健康福祉部保険課)……………P13

令和3年度保健事業実施状況及び令和4年度保健事業計画(子育て世代包括支援センター一分)

	令和4年度計画		令和3年度見込		令和2年度実績		令和元年度実績		事業内容等
	実人数	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数	
母子健康手帳の交付	280人	—	237人	—	278人	—	258人	—	母子健康コーデイネーターを中心に専門職が面接、マタニティキーホルダーを配布。 妊婦アンケート等から把握した妊娠中に支援を要する妊婦。 ※令和2年度は令和2年10月～令和3年3月の数
要フォロー妊婦	98人	—	74人	—	57人	—			出産後も孤立せず育児ができるよう、支援者の紹介や夫婦で参加できる内容のプログラムとしている。 令和元年度までは平日講座を年3コース(1コース2回(平成30年度は3回))、日曜日講座を年5回実施。 令和2年度からプログラムの内容を変更、日曜日に年5回実施。 令和3年度は土曜日2回、日曜日3回実施。 ※その他は祖父祖母等
両親教室※ (パパママクラス)	妊婦	80人	65人	65人	67人	67人	69人	89人	
	夫	80人	57人	57人	65人	65人	63人	64人	
	その他	0人	0人	0人	0人	0人	1人	2人	
	計	160人	122人	122人	132人	132人	133人	155人	
産前・産後ヘルパー派遣事業	35人	288人	34人	285人	25人	163人	32人	248人	令和2年10月に子育て支援課から移管
産後ケア事業	10人	40人	5人	20人					令和3年10月から事業開始
低体重児届出数	20人	—	26人	—	19人	—	17人	—	
妊娠・出産・子育て相談専用電話	120人	180人	87人	142人	50人	67人			令和2年10月から運用
育児・離乳食相談※ (来所)	乳児	60人	120人	82人	115人	49人	76人	245人	偶数月は第2水曜日に実施(午後)
	幼児	40人	80人	23人	52人	38人	49人	161人	奇数月は第2月曜日に実施(午前)
	計	100人	200人	105人	167人	87人	125人	406人	※令和2年6月から定員を設け予約制で実施
保健指導 (個別指導)	妊婦	300人	310人	259人	263人	311人	315人	312人	主に母子健康手帳交付時の妊婦面接
	産婦	90人	100人	70人	79人	94人	103人	124人	主に出生時の予防接種手帳交付相談
	乳児	350人	400人	367人	404人	314人	354人	405人	主に出生時の予防接種手帳交付相談
	幼児	250人	350人	244人	364人	220人	250人	386人	主に転入時の予防接種手帳交付相談
	計	990人	1,160人	940人	1,110人	939人	1,114人	1,227人	
妊婦	10人	15人	10人	10人	11人	13人	16人	19人	※妊婦は、要フォロー妊婦等
産婦	280人	290人	272人	282人	273人	355人	281人	356人	
新生児 訪問指導	全戸訪問	280人	280人	262人	262人	275人	282人	262人	全戸訪問
	その他	30人	100人	30人	100人	23人	36人	133人	その他
	計	680人	815人	648人	776人	667人	710人	971人	看護師等の専門職が、生後4か月までの乳児家庭を全戸訪問しており、あわせて訪問時に絵本を配布している。 ※他市での実施分を含む
乳児	80人	130人	74人	122人	85人	152人	115人	そ	
幼児	80人	130人	74人	122人	85人	152人	115人	そ	
計	680人	815人	648人	776人	667人	710人	971人		

※ 令和2年3月～5月は新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため事業を中止、パパママクラスは2月も中止している

※ 令和3年5月、6月は新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため育児相談を中止している

令和3年度保健事業実施状況及び令和4年度保健事業計画(子育て世代包括支援センター分)

事業名	実施回数	令和4年度計画		令和3年度見込		令和2年度実績		令和元年度実績		事業内容等	
		対象者	受診人数	対象者	受診人数	対象者	受診人数	対象者	受診人数		受診率
妊婦一般健康診査	妊婦	-	(実) 400人	/	(実) 383人	-	(実) 442人	-	(実) 409人	/	一人あたりの助成額は120,000円 (23,000円×1枚、10,000円×2枚、7,000円×11枚)
			(延) 3,200人		(延) 3,026人		(延) 3,541人		(延) 3,144人		
乳児一般健康診査	主に1か月児	270人	270人	262人	258人	274人	241人	263人	241人	91.6%	※対象者は出生数とする ※令和元年度から大阪府外での受診者に償還払いを実施
4か月児健康診査※	年12回	290人	290人	279人	258人	269人	265人	262人	259人	98.9%	※対象者は4か月児健診対象者とする
1歳6か月児健康診査※	年9回	300人	300人	263人	261人	321人	321人	277人	272人	98.2%	島本出合いの絵本事業 歯科健診・発達相談も実施 ※令和3年度から対象者増のため年10回実施
3歳6か月児健康診査※	年9回	320人	320人	313人	307人	326人	320人	270人	263人	97.4%	島本出合いの絵本事業 歯科健診・発達相談も実施 ※令和3年度から対象者増のため年10回実施
経過観察健診(にこにこ健診)小児科医※	乳幼児	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	-	健診のフォロー—や親の相談等から対象把握 ※令和2年度は72回予定

※ 令和2年3月～5月は、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため事業を中止、経過観察(にこにこ健診)小児科医のみ5月から再開

令和3年度保健事業実施状況及び令和4年度保健事業計画(子育て世代包括支援センター分)

事業名	実施回数	令和4年度計画		令和3年度実績見込		令和2年度実績		令和元年度実績		事業内容等
		実人数	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数	
びよびよ教室※1	年12回	13組	—	13組	—	4組	—	11組	—	育児に対して不安を感じている保護者の集まりの場。保育士が実施。
幼児教室※1	週1回×3グループ	40組	—	40組	—	36組	—	46組	—	発達に心配や不安のある子どもと保護者が、共に遊びながら、よい親子関係を築くための集いの場。保育士が実施。
ポニーの教室※3 (早期療育事業)	年2クール (20回/クール)	母 10人 子 10人	母 200人 子 200人	母 10人 子 10人	母 188人 子 188人	母 10人 子 10人	母 178人 子 179人	母 10人 子 10人	母 162人 子 162人	発達につまづきを持った子どもとその親に対して継続的な相談等を行い、適切な支援を実施。5人を1グループとして、毎週1回2時間程度親子別室にて実施している。
きらきら相談※2	年23回	161人	161人	143人	144人	125人	144人	159人	171人	事業実施にあたっては、社会福祉法人大阪手をつなぐ育成会に事業委託。
ことばの相談※3	年4回	16人	16人	11人	11人	9人	10人	14人	14人	発達支援指導員による個別相談を実施。
子育て講座※1※3	年18回	—	153組	—	157組	—	178組	—	312組	言語聴覚士による個別相談を実施。 ※令和2年度は年3回実施

※1 びよびよ教室、幼児教室、子育て講座は令和2年10月に子育て支援課からいきいき健康課に移管した事業

※2 きらきら相談は令和2年10月に子育て支援課からいきいき健康課に移管して統合した事業

※3 令和2年3月～5月は、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため事業を中止。令和3年度の子育て講座は4月、5月のベビーマッサージ、5月の親子でうんどうあそびを中止。

令和3年度保健事業実施状況及び令和4年度保健事業実施計画(健康増進事業)

事業名	内容	令和4年度計画		令和3年度見込		令和2年度実績※1		令和元年度実績		事業内容等
		受診者数	要精検者数	受診者数	要精検者数	受診者数	要精検者数	受診者数	要精検者数	
がん検診	肺がん検診									◎令和2年度から、個別検診において胃がん検診(胃内視鏡検査)を開始。 ◎令和2年度以降の集団検診については、新型コロナウイルス感染症対策のため、定員を減じて実施。また、令和4年度についても、定員を減じての実施を予定している。 ◎受診率・要精検率・精検受診率・陽性反応適中度は肺がん・胃がん・マンモグラフィ検診については、40歳以上(子宮頸がんは20歳以上)の受診者を対象として算出。(受診者数は30歳代の受診者も含む) ◎平成28年度から、4月1日時点で60歳になる方ががん検診受診勧奨を実施しており、令和2年度においては65歳を対象を変更して実施。
	受診者数(受診率)	2,820人	31.4%	2,771人	30.9%	2,540人	27.5%	2,847人	30.7%	
	要精検者数(要精検率)					52人	2.0%	64人	2.2%	
	精検受診者数(精検受診率)					39人	75.0%	58人	90.6%	
	がん発見数(陽性反応適中度)					1人	1.9%	5人	7.8%	
	胃がん検診									
受診者数(受診率)	550人	6.1%	469人	5.2%	348人	3.9%	543人	5.5%		
バリウム検査受診者数	400人		375人		255人		543人			
内視鏡検査受診者数	150人		94人		93人					
要精検者数(要精検率)					25人	7.2%	47人	8.7%		
精検受診者数(精検受診率)					21人	84.0%	33人	70.2%		
がん発見数(陽性反応適中度)					0人	0.0%	0人	0.0%		
大腸がん検診										
受診者数(受診率)	2,150人	24.0%	2,090人	23.1%	1,852人	20.6%	2,118人	23.6%		
要精検者数(要精検率)					143人	7.7%	158人	7.5%		
精検受診者数(精検受診率)					101人	70.6%	135人	85.4%		
がん発見数(陽性反応適中度)					1人	0.7%	9人	5.7%		

※1 令和2年度の要精検者数やがん発見数等は、現在集計中であり、見込み数となっている。

※2 令和2年3月～5月は新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため事業を中止

【指標の算出方法】

- ・受診率 = 受診者数 / 対象者数 × 100 (※6)
- ・要精検率 = 要精検者 / 受診者数 × 100
- ・精検受診率 = 精検受診者数 / 要精検者数 × 100
- ・陽性反応適中度 = がん発見数 / 要精検者数 × 100

※3 対象者数は平成27年国勢調査結果をもとに下記の計算式より算出。

対象者数 = 40歳以上の人口 - (40歳以上就業者数 + 農林水産業従事者数)

各がん検診に関する評価指標とそれぞれの許容値(※4)及び目標値(※5)

	大腸がん	胃がん	肺がん
受診率 ※6	目標値	50%以上	50%以上
要精検率 ※7	許容値	7.0%以下	3.0%以下
精検受診率 ※7	許容値	70%以上	70%以上
陽性反応適中度 ※7	目標値	90%以上	90%以上
	許容値	1.9%以上	1.3%以上

※4 がん検診を適正に実施する上での基本的な要件

※5 がん検診を適正に実施する上での理想値

※6 平成29年10月策定「がん対策推進基本計画(第3期)」より

※7 「今後の我が国におけるがん検診事業評価について

がん検診事業評価委員会報告書 H20年3月厚生労働省」より

令和3年度保健事業実施状況及び令和4年度保健事業実施計画(健康増進事業)

事業名	内容	令和4年度計画		令和3年度見込		令和2年度実績※1		令和元年度実績		事業内容等
		人数	率	人数	率	人数	率	人数	率	
がん検診・健康診査※2	子宮頸がん検診									◎子宮頸がん検診は20歳、マンモグラフィ検診は40歳を対象にクーポン券を配付。 ◎子育て世代が受診しやすいよう「まとめて検診」「まとめて検診レディース」で保育を実施。 ◎過去に子宮頸がん・マンモグラフィ検診を受けたが、その後未受診の方に対して新書にて受診勧奨を実施。
	受診者数(受診率)	1,260人	35.8%	1,244人	34.6%	1,177人	34.3%	1,232人	34.4%	
	要精検者数(要精検率)					20人	1.7%	14人	1.1%	
	精検受診者数(精検受診率)					16人	80.0%	12人	85.7%	
	がん発見数(陽性反応適中度)					0人	0.0%	0人	0.0%	
	乳がん(マンモグラフィ)検診									
	受診者数(受診率)	565人	19.3%	557人	17.9%	483人	17.9%	567人	18.6%	
	要精検者数(要精検率)					27人	5.6%	22人	3.9%	
	精検受診者数(精検受診率)					22人	81.5%	21人	95.5%	
	がん発見数(陽性反応適中度)					2人	7.4%	3人	13.6%	
20-30歳代健診		130人				96人		134人		
肝炎ウイルス検査		60人				45人		37人		
骨粗鬆症検査		190人				101人		213人		

※1 令和2年度の要精検者数やがん発見数等は、現在集計中であり、見込み数となっている。

※2 令和3年3月～5月は新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため事業を中止

【指標の算出方法】

-受診率 = 受診者数 / 対象者数 × 100 (※6)

-要精検率 = 要精検者 / 受診者数 × 100

-精検受診率 = 精検受診者数 / 要精検者数 × 100

-陽性反応適中度 = がん発見数 / 要精検者数 × 100

※3 対象者数は平成27年国勢調査結果をもとに下記の計算式より算出。

対象者数 = 40歳以上の人口 - (40歳以上就業者数 + 農林水産業従事者数)

各がん検診に関する評価指標とそれぞれの許容値(※4)及び目標値(※5)

	乳がん	子宮頸がん
受診率 ※6	目標値 50%以上	50%以上
要精検率 ※7	許容値 11.0%以下	1.4%以下
精検受診率 ※7	許容値 80%以上	70%以上
	目標値 90%以上	90%以上
陽性反応適中度 ※7	許容値 2.5%以上	4.0%以上
	目標値 5.0%以上	4.0%以上

※4 がん検診を適正に実施する上での基本的な要件

※5 がん検診を適正に実施する上での理想値

※6 平成29年10月策定「がん対策推進基本計画(第3期)」より

※7 「今後の我が国におけるがん検診事業評価について

がん検診事業評価委員会報告書 H20年3月厚生労働省」より

令和3年度保健事業実施状況及び令和4年度保健事業実施計画(健康増進事業)

事業名	内容	令和4年度計画		令和3年度見込		令和2年度実績		令和元年度実績		事業内容等
		回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	
健康教育※2	医師、保健師、管理栄養士等による、生活習慣病の予防、健康の保持に関する指導	19回	265人	4回	55人	17回	149人	83回	1,804人	◎受動喫煙対策として、広報、掲示板やホームページを活用し啓発を実施。 ◎令和2年度は、いきいき百歳体操・かみかみ百歳体操実施地域に対して実施状況の把握を行った。 ◎アルコール対策として、茨木保健所と連携しながら、相談窓口の子ラジ等を窓口に配架するなど啓発を実施。 ◎集団健診時に特定健診、20歳30歳代健診受診者全員に実施していた健康相談について、令和2年度以降は、コロナウイルス感染症対策のため希望者に実施。 ◎令和2年度以降は、医師による不妊に関する相談を1回実施。
健康相談※2	医師、保健師、看護師、管理栄養士による相談	55回	502人	41回	412人	34回	133人	78回	1,334人	◎集団健診時に特定健診、20歳30歳代健診受診者全員に実施していた健康相談について、令和2年度以降は、コロナウイルス感染症対策のため希望者に実施。 ◎令和2年度以降は、医師による不妊に関する相談を1回実施。
健康手帳の交付	保健事業参加時に交付	480人		456人		380人		467人		健康診査や相談、血圧の値を記録し自己管理ができるもので、健診や教室などを受講される方に配布している。
訪問指導	閉じこもり予防	4人	4人	4人	4人	6人	7人	6人	12人	◎令和2年度より、委託包括支援センターと連携した、認知症初期集中支援チームによる訪問及び高齢者虐待として保健師が訪問したケースを計上している。
	介護家族者	1人	1人	1人	1人	0人	0人	0人	0人	
	寝たきり者	1人	1人	1人	1人	0人	0人	0人	0人	
	認知症	10人	30人	12人	33人	14人	27人	3人	5人	
	その他	10人	25人	10人	26人	20人	64人	16人	29人	
計	26人	61人	28人	65人	40人	98人	25人	46人		
健康マイレージ事業	応募者数							513人		令和元年度で事業終了。

	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度
健康寿命	男性：島本町(国、大阪府) 81.3歳(79.6歳、79.2歳) 女性：島本町(国、大阪府) 85.5歳(83.9歳、83.6歳)	81.2歳(79.8歳、79.0歳) 85.1歳(84.0歳、83.3歳)	81.0歳(79.6歳、79.0歳) 85.0歳(84.0歳、83.4歳)	80.6歳(79.4歳、78.4歳) 84.6歳(83.7歳、82.7歳)

※2 令和2年3月～5月は新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため事業を中止

令和3年度保健実施状況及び令和4年度保健事業計画(歯科保健事業)

事業名	対象	令和4年度計画		令和3年度見込み		令和2年度実績		令和元年度実績		事業内容等
		回数等	人数	回数等	人数	回数等	人数	回数等	人数	
健康教育	子育て教室※	-	-	中止	中止	中止	中止	4回	175人	町立保育所(第二・四)で、歯科衛生士による講話とブラッシング指導を実施
	キラキラ歯みがき教室※	-	-	中止	中止	中止	中止	1回	171人	
歯科相談※	一般住民	6回	60人 (内妊婦10人)	5回	36人 (内妊婦4人)	5回	41人 (内妊婦7人)	6回	69人 (内妊婦9人)	1歳6か月児健診のかりオフォローを含む
	乳幼児	6回	80人	5回	61人	5回	62人	6回	102人	
健康診査	1歳6か月児歯科健診※	9回	315人	9回	265人	9回	324人	9回	276人	かりオスタットを実施 (※施設入所児を含む)
	3歳6か月児歯科健診	10回	350人	10回	307人	9回	320人	9回	262人	
健康診査	18歳以上 (妊産婦は18歳未満も可能)	2回	45人 (内妊婦5人)	2回	38人 (内妊婦4人)	2回	27人 (内妊婦2人)	2回	39人 (内妊婦2人)	特定健診・がんセット検診(日曜健診)と同日に実施している
	個別(委託医療機関)	4月1日～ 3月15日	280人 (内妊婦90人)	4月1日～ 3月15日	271人 (内妊婦90人)	4月1日～ 3月15日	223人 (内妊婦80人)	4月1日～ 3月15日	255人 (内妊婦62人)	
歯の健康展※	一般住民	-	-	中止	中止	中止	中止	1回	383人	令和元年度から対象を18歳以上(妊産婦は18歳未満も可能)に拡大している

※ 令和2年3月～5月は新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため事業を中止

令和3年度予防接種事業実施状況及び令和4年度計画(予防接種事業)

予防接種名	対象者	令和4年度計画	令和3年度実績見込(※1)		令和2年度実績		令和元年度実績	
			実績見込人数	接種率	実績人数	接種率	実績人数	接種率
DPT(三種混合)(※2)	生後3月～90月未満	0人	0人	104.1%	0人	0人	0人	94.9%
DPT-IPV(四種混合)	生後3月～90月未満	1,160人	1,190人		1,187人	1,065人		
DT(二種混合)(※3)	第2期 11歳・12歳	380人	350人	107.7%	294人	331人	99.3%	105.4%
麻疹(※4)	第1期 生後12月～24月未満	0人	0人		0人	0人		
	第2期 5歳以上7歳未満(年長児)	0人	0人		0人	0人		
風しん(※4)	第1期 生後12月～24月未満	0人	0人		0人	0人		
	第2期 5歳以上7歳未満(年長児)	0人	0人		0人	0人		
MR(麻疹風しん)	第1期 生後12月～24月未満	300人	260人	89.3%	301人	290人	99.0%	96.7%
	第2期 5歳以上7歳未満(年長児)	320人	292人	95.4%	267人	323人	95.4%	98.2%
日本脳炎(※5)(※9)	第1期 生後6月～90月未満	1,010人	675人	72.3%	958人	944人	106.7%	110.0%
	第2期 9歳～13歳未満	480人	318人	95.2%	306人	358人	95.3%	110.8%
不活化ポリオ(※2)	生後3月～90月未満	0人	0人		0人	1人		
BCG	1歳未満	300人	220人	77.5%	317人	271人	99.4%	103.0%
ヒブ	生後2月～5歳未満	1,160人	1,090人	95.4%	1,160人	1,077人	104.7%	96.0%
	生後2月～5歳未満	1,160人	1,095人	95.8%	1,141人	1,100人	103.0%	98.0%
小児用肺炎球菌	生後12月～36月未満	580人	495人	85.1%	607人	569人	99.8%	94.8%
	平成28年4月1日以降に生まれた1歳未満	870人	815人	95.7%	846人	811人	105.2%	98.7%
水痘	生後6週0日～24週0日(1価 2回)	92人	105人	95.8%	36人		103.0%	
	生後6週0日～32週0日(5価 3回)	720人	720人		275人			
B型肝炎	小学6年生～高校1年生	165人	135人	28.3%	47人	12人	10.7%	3.8%
	65歳以上	4,860人	5,300人	60.0%	6,109人	4,476人	70.0%	51.1%
成人用肺炎球菌(※8)(※9)	65歳～100歳の5歳ざみ	330人	325人	25.7%	312人	243人	26.0%	20.5%

(※1) 令和3年度実績見込については、令和3年4月から8月までの接種実績から見込んでいます。

(※2) 基本的には、DPT-IPV(四種混合)を接種しているため、接種実績はない。

(※3) 平成30年度に、DTアクトの出荷調整が行われていたため、令和元年度実績、令和2年度実績は増加していると思われる。

(※4) 基本的には、MR(麻疹風しん)を接種しているため、接種実績はない。

(※5) 日本脳炎の実績人数は特別措置を含む人数である。

(※6) ロタは、令和2年10月から開始された。

(※7) 子宮頸がん予防は、平成25年6月から積極的勧奨を差し控えているが、令和2年10月に個別通知による情報提供を行うよう国の通知が発出され、令和2年度から対象者へ個別通知を実施している。

(※8) 令和元年度から対象者が2順目となり、1順目で未接種者だった人が対象である。

(※9) 令和2年度実績において、令和2年2月25日～令和2年5月21日の間に定期予防接種の規定の接種期限が過ぎてしまった方で、新型コロナウイルス感染症拡大のために、定期予防接種を受けられなかった方へ定期接種として接種できるよう制度構築をした。その実績を含む人数である。

予防接種事業 【別表】

①風しん予防接種費用助成事業

風しん抗体検査の結果、抗体価が十分でない方の予防接種費用を償還払いにて助成（上限6,000円）

接種対象者	令和4年度計画	令和3年度見込	令和2年度実績	令和元年度実績
妊娠を希望する女性	63人	80人	63人	83人
妊娠を希望する女性の配偶者	8人	8人	8人	9人
妊娠をしている女性の配偶者	5人	5人	5人	6人
妊娠を希望する女性	3人	5人	5人	4人
妊娠を希望する女性の配偶者	1人	1人	0人	0人
妊娠をしている女性の配偶者	1人	1人	0人	0人
合計	81人	100人	81人	102人

②風しん抗体検査・風しん第5期予防接種

風しんの発生と蔓延を防止するために、令和元年度から、昭和37年4月2日から昭和54年4月1日までに生まれた男性に対し、無料で風しんの抗体検査とMRワクチンの予防接種ができるクーポン券を送付した。令和4年度以降も、事業継続の予定。予防接種は、風しんの抗体検査の結果、抗体価が低い方が対象。

	令和4年度計画	令和3年度見込	令和2年度実績
風しん抗体検査	480人	132人	479人
風しん予防接種	84人	33人	85人

令和3年度は、未検査及び未接種者に葉書等にて勧奨を行う

予防接種事業 【別表】

③新型コロナウイルスワクチン接種の実施状況等について

ア 1回目・2回目接種の実績（令和3年12月1日時点）

	対象者数	1回目接種者数	1回目接種率	2回目接種者数	2回目接種率
全体（12歳以上）	28,184人	24,610人	87%	24,409人	87%
高齢者（65歳以上）	8,844人	8,257人	93%	8,225人	93%
60～64歳	1,705人	1,564人	92%	1,566人	92%
50～59歳	4,242人	3,831人	90%	3,808人	90%
40～49歳	4,679人	4,047人	86%	4,020人	86%
30～39歳	3,844人	3,196人	83%	3,162人	82%
20～29歳	2,555人	2,035人	80%	2,008人	79%
12～19歳	2,315人	1,680人	73%	1,620人	70%

※接種者は、国のワクチン接種記録システム（VRS）に記録された人数です。

※対象者は、令和3年12月1日現在の住民基本台帳にもどついた人口です。

※接種率は、対象者数に対する接種者の割合です。

<集団接種及び個別接種の令和3年5月～10月までの実績>

集団接種	期間・回数： 5/15～10/31で「62回」実施（5～8月は木土日、9～10月は土日実施） 被接種者＝ 約10,500人、接種回数＝ 約21,000回 医師の出務数： 延べ約260人 薬剤師の出務数： 延べ約165人
個別接種	期間・回数： 5/17～10月末で「約800回」実施 ※11月以降も継続実施中 被接種者＝ 約7,000人、接種回数＝ 約14,000回 実施機関： 15医療機関

イ 追加接種（3回目接種）の概要について

- 対象者：2回目接種から「8か月以上経過」した方（接種日時点で18歳以上）
- 接種時期：「2回目接種から8か月後の同日」から接種可能（※8か月後に同日がない場合はその翌月の1日から接種可能）
- 使用ワクチン：ファイザー社ワクチンによる接種から開始（※薬事承認後にモデルナ社ワクチンの使用も可となる見込み）
- 接種場所：町内での接種については、町内医療機関での「個別接種」、令和4年2月以降、ふれあいセンターでの「集団接種」を予定
- 追加接種のスケジュール

2回目接種	対象者	接種券送付	3回目接種開始
R3年3・4月	医療従事者	R3年11月末	R3年12月
R3年5月	医療従事者・施設入所高齢者	R3年12月中旬	R4年1月
R3年6月	高齢者等	R4年1月中旬	R4年2月
R3年7月	高齢者等	R4年2月中旬	R4年3月

令和3年度利用状況及び令和4年度計画(高槻島本夜間休日応急診療所)

		令和4年度計画	令和3年度見込	令和2年度実績	令和元年度実績	備考
高槻島本夜間休日応急診療所	内科	213人	217人	164人	473人	◎平成25年度から、初期、二次、三次及び小児救急体制の維持及び運営等について、三市一町(高槻市・高槻市・茨木市・茨木市・茨木市)で協定書を締結し、救急、医療体制の確立に努めている。 ◎令和2年度実績は、令和元年度実績と比較すると大幅に減っているが、これは新型コロナウイルス感染症の影響により、受診を控えた人が増加したことによるもの。
	小児科	473人	477人	184人	831人	
	外科	163人	165人	157人	232人	
	歯科	20人	21人	15人	23人	
	計	869人	1,102人	520人	1,559人	

データヘルス計画進捗状況

1 生活習慣病等早期発見に向けた取組 評価指標

	令和2年度	令和5年度目標
特定健診受診率	30.3%	60%

国民健康保険加入者のがん検診受診率

肺がん検診	24.8%	40%
大腸がん検診	21.4%	40%
胃がん検診	4.9%	20%
乳がん検診（マンモグラフィ検診）	14.5%	40%
子宮がん検診	14.5%	45%

国民健康保険加入者のがん検診精密検査受診率

肺がん検診	82.6%	100%
大腸がん検診	75.9%	100%
胃がん検診	86.4%	100%
乳がん検診（マンモグラフィ検診）	87.5%	100%
子宮がん検診	100.0%	100%

2 生活習慣病重症化予防に向けた取組 評価指標

	令和2年度	令和5年度目標
特定保健指導実施率	28.1%	60%

特定健診で要受療項目があった方の医療機関受診率

血圧	56.8%	70%
糖尿	84.0%	90%
脂質	56.3%	55%

3 ジェネリック医薬品普及率の向上 評価指標

	令和2年度	令和5年度目標
ジェネリック医薬品普及率(数量ベース)	76.4%	80%

4 受診行動適正化指導事業(重複受診、重複投薬、薬剤併用禁忌防止) 評価指標

	令和2年度	令和5年度目標
重複受診者数(令和元年度52人)	減少(44人)	減少
重複服薬者数(令和元年度108人)	減少(99人)	減少